

開会挨拶（2023年11月17日）

皆様こんにちは。運輸総合研究所理事長の佐藤です。

本日も、ご多用の中、大変多くの皆様にご参加をいただき、誠にありがとうございます。第91回運輸政策セミナーの開会に当たり一言申し上げます。

新型コロナ禍以降、交通系 IC カードなどの電子マネー、PayPay などの QR コード、そしてクレジットカードといったキャッシュレス決済の伸びが加速しています。わが身を振り返ってみると、通勤や外出時の公共交通利用、駅ナカやコンビニでの買物は全て SUICA で済ませていて、現金を使うことがほとんどありません。他方で、新型コロナ禍収束後、物凄い勢いで戻ってきつつあるインバウンドの立場に立ってみると、SUICA を入手していないとすれば、買物や飲食に関しては、少額であってもクレジットカード決済が可能となっていて不便を感じないと思いますが、公共交通利用に関しては、タクシーについてはクレジットカード決済が普及しているものの、鉄道やバスについても例えばクレジットカードをかざすことによって乗車できれば便利なのにと感じているのではないのでしょうか。

本日のセミナーでは、「どうなる？今後の交通系キャッシュレス決済～鉄道事業者の戦略～」をテーマとして、関東・関西の鉄道事業者による最新の取組み事例も踏まえ、今後のキャッシュレス決済について皆様と考察を深めたいと考え

ております。

本日のセミナーの進め方ですが、最初に、SUICAの生みの親であるJR東日本メカトロニクス株式会社の椎橋名誉顧問に「IC乗車券の開発導入と今後の展望」というテーマで基調講演をしていただきます。

続いて、当研究所の渡邊研究員が「海外の交通系キャッシュレス決済の事例」について報告を行います。

その後、これら基調講演と報告を踏まえ、日本ICカードシステム利用促進協議会を起源とする一般社団法人ID認証技術推進協会の事務局長を務めておられる株式会社電子決済研究所の多田羅社長をコーディネーターとして、JR東日本、東急電鉄、近畿日本鉄道、南海電気鉄道、大阪市高速電気軌道の各鉄道事業者様にご登壇いただき、ディスカッションと質疑応答を行います。視聴者の皆様には、ご意見やご質問をどしどしお寄せいただければと思います。

最後に、日頃より当研究所の活動をご支援いただいている日本財団に御礼を申し上げるとともに、本日のセミナーが、ご参加いただきました多くの皆様方にとりまして真に有益なものとなることを期待いたしまして、誠に簡単ではありますが、私の冒頭の挨拶といたします。

それでは、登壇者の皆様、視聴者の皆様、どうぞよろしくお願いたします。